

活動報告(2022.1～2022.12)

1 会議

(1) 所員会議

[2022年度]

第1回 2022年5月12日(木)

議題

- 1 2021年度事業報告及び決算報告について
- 2 2022年度事業計画及び予算について
- 3 本研究所新規研究員の加入について
- 2 2022年度事業計画および予算について
- 3 研究費申請について
- 4 図書等購入申請について
- 5 2022年度ブックレット執筆希望者の募集について
- 6 運営委員の担当割り振りについて

(2) 運営委員会

[2021年度]

第8回 2022年1月20日(木) ※メール会議

議題

- 1 特別重点研究「愛知大学豊橋校舎の歴史的建造物」についての講演会開催について

第9回 2022年2月10日(木)

議題

- 1 所長および運営委員改選に伴う選挙管理委員の選出について
- 2 公開シンポジウム(「副葬品がかたる古墳文化」、「郷土の記憶を舞台化する」(仮))開催について
- 3 考古遺跡発掘調査報告書ほか書籍等の受贈について

第10回 2022年3月10日(木)

議題

- 1 図書・資料の寄贈について
- 2 研究員の新規加入申請について
- 3 非常勤所員および研究員の継続について

[2022年度]

第1回 2022年4月7日(木)

議題

- 1 2022年度事業報告および決算報告について

第2回 2022年6月9日(木)

議題

- 1 2022年度研究費の執行について
- 2 2022年度図書等の購入について
- 3 2022年度紀要(第68輯)の原稿募集について
- 4 新規研究員の加入申請について

第3回 2022年7月21日(木)

議題

- 1 2021年度目的別事業評価について
- 2 2022年度紀要(第68輯)の執筆者について
- 3 2023年度ブックレットの執筆者について
- 4 特別重点研究にかかる講演会の開催について

第4回 2022年9月22日(木)

議題

- 1 2022年度事業計画に関する対応(図書ポリシー等)について
- 2 2022年度補正予算について
- 3 2022年度図書等購入申請(第2回)について
- 4 2022年度地域研究機構共同企画による公開講演会の開催について
- 5 2023年度新規事業予算について

第5回 2022年10月27日(木)

議題

- 1 2023年度事業計画について
- 2 2022年度図書等購入(第2回)について
- 3 2023年度新規事業予算について

第6回 2022年11月24日(木)

議題

- 1 2023年度予算申請について
- 2 2022年度「紀要」第68輯の編集について

2 研究所主催 公開講演会

[2021年度]

(1) 演題：副葬品がかたる古墳文化

日時：2022年3月19日(土)13時～16時45分

場所：豊橋市公会堂

講演：寺西1号墳とはどんな古墳か

講師：岩原剛(豊橋市文化財センター所長)

発表1：象嵌装大刀

発表者：初村武寛(元興寺文化財センター)

発表2：武器・馬具

発表者：大谷宏治(静岡県文化財課)

発表3：須恵器

発表者：大西遼(愛知県陶磁美術館)

尾崎綾亮(愛知県埋蔵文化財調査センター)

発表4：6～7世紀の古代氏族

発表者：廣瀬憲雄(愛知大学文学部教授)

[2022年度]

(2) 演題：郷土の記憶を舞台化する

日時：2022年5月22日(日)13時～16時30分

場所：愛知大学豊橋校舎記念会館3階小会堂

講演1：小泉八雲作品の舞台化、資源化をめぐる試み

講師：小泉凡(民俗学者)

講演2：私を踊りへと誘うもの

講師：田中一行(舞踏家・振付家)

パネルディスカッション

パネリスト：小泉凡、田中一行、吉野さつき、大橋玲、内浦有美

(3) 演題：三河の菓子文化

日時：2022年6月25日(土)13時～16時

場所：愛知大学豊橋校舎3号館321教室

基調講演：菓子文化史と三河のかかわり

講師：須川妙子(愛知大学短期大学部教授)

学生による活動報告：短期大学部学生2名

パネルディスカッション

パネリスト：須川妙子、山田享司、

千賀貴夫、角谷隆政、

加藤勝敏

3 特別重点研究 研究成果報告会

演題：愛知大学豊橋校舎の歴史的建造物

日時：2022年10月1日(土)13時30分～16時

場所：愛知大学豊橋校舎6号館620教室

講演1：陸軍第15師団の設営

講師：山田邦明(愛知大学文学部教授)

講演2：愛知大学豊橋校舎敷地内旧陸軍施設とその調査

講師：泉田英雄(福島大学非常勤講師)

4 地域研究機構主催 公開講演会

演題：穂国の古墳文化－馬越長火塚古墳と寺西1号墳からわかること－

日時：2022年12月24日(土)

13時30分～15時30分

場所：愛知大学豊橋校舎6号館620教室

講師：岩原剛(豊橋市文化財センター所長)

5 刊行物

○愛知大学総合郷土研究所紀要 第67輯

(2022年3月刊行)

○郷土研ブックレット31「東三河の古墳－1,600基の古墳はどうして築かれたのか－」

(2022年1月刊行)

6 所蔵資料の保存と整理

当研究所古文書・考古作業室において2022年1月から12月までに行った収蔵史料の保存及び整理の現状について、簡単に紹介する。

(以下担当：荒木亮子・田中博久・水船早紀)

(1) 三河国設楽郡海老村田楽覚書

(仮史料群No.310)

2022年に古書店より購入。1点。三河国設楽郡海老村(現在の愛知県新城市海老)に伝来したと思われる田楽の歌詞が記されている。大正年間に廃止された四谷田楽の歌詞(『鳳來町史 文化財編』に収録)と酷似している。田楽歌詞の一部は、1626年(寛永6)に作詩されたと推定される。

(2) 三河国碧海郡大浜村文書

(仮史料群No.311)

2022年に古書店より購入。2点。大浜村は現在の愛知県碧南市大浜上町とその周辺。新田開発証文と久沓新田の割地覚書を収録。

(3) 三河産馬組合長原田甚八郎関係文書

(仮史料群No.312)

2022年に古書店より購入。4点。三河産馬組合長当選書や馬の血統証などを収録。

(4) 三河産馬組合理約 (仮史料群No.313)

2022年に古書店より購入。1点。三河産馬組合は、1900年(明治33)に南北設楽郡及び東加茂郡の産馬組合が合併して設立された。史料内の組合区域から、作成年代は1900年(明治33)と推定。同一史料の翻刻が『稲武町史資料編 近現代』に収録されている。

(5) 三河産馬組合沿革及成績

(仮史料群No.314)

2022年に古書店より購入。1冊。作成年代は歳入出などの記述から1907年(明治40)と推定。所有牡牝馬の一覧や写真、品評会の受賞記録などが収録されている。一部翻刻が『豊田市史12 資料編 近代Ⅲ』に収録されている。

(6) 愛知県南設楽郡門谷村丸山家文書

(仮史料群No.315)

2022年に古書店より購入。5点(総史料7点)。丸山家は愛知県南設楽郡門谷村(現在の愛知県新城市門谷)で宿泊業を営んでいた。屋号は江戸屋。明治時代の宿泊業の鑑札や宿泊所が記された参詣案内図などを収録。

(7) 神都名勝誌 (仮史料群No.316)

2022年に古書店より購入。全7冊。1895年(明治28)に発行された三重県伊勢地方の名勝地などが記された地誌。

(8) 陸軍騎兵星野茂吉日記 (仮史料群No.317)

両角洋子氏より寄贈。2冊。高師村(現在の豊橋市)周辺で行われた演習や、大正2年に名古屋で行われた陸軍特別大演習の内容などが記されている。執筆者星野茂吉氏(両角氏の父)の所属は、日記内に出てくる地名から豊橋に設置されていた陸軍第15師団の騎兵聯隊と推定される。

(9) 岡崎池田家旧蔵史料 (未整理No.5)

1987年に古書店より購入したもの。ダンボール11箱中6箱、史料2,475点を一点ずつクリーニングし、番号を付した文書封筒へ袋詰めにした。そのうち情報の書き込みが終了した史料は239点。「幡豆郡荻原村糟谷家文書」をはじめ、「幡豆郡小島村文書」等複数の文書群が混在している(次年度継続)。

(10) 幡豆郡家武村近藤家・愛知郡下之一色村正雲寺・静岡県志太郡和田村村上家ほか混在文 (仮史料群No.304)

1990年に古書店より購入した箱の内の2箱。クリーニングを施しながら番号を付した文書封筒へ袋詰めを行った。史料245点の内、現在情報の書き込みが終了した史料は188点。1箱は2019年に整理済み(次年度継続)。

(11) 三上村赤川家文書 (仮史料群No.287)

2021年度に引き続き文書封筒へ情報の書き込みを行った。2022年書き込みが終了した史料は491点(昨年度分を含め計1,423点)。データの入力は次年度へ継続。

(12) 海津郡高須町吉田家文書 (未整理No.17)

2021年より継続。ダンボール10箱と文書箱1箱。密封・真空処置とクリーニングを施しながら文書封筒へ袋詰めした。袋詰め完了時の史料は984点。新たな虫損の有無を確認しながら順次仮目録を作成(次年度継続)。

7 展示

(1)「奥三河をつなぐ乗本村の水運」

期間：2021年10月11日(月)

～2022年1月28日(金)

会場：豊橋校舎大学記念館郷土研展示室

(2)「お伊勢参り」

期間：2022年6月1日(水)～9月30日(金)

会場：豊橋校舎大学記念館郷土研展示室



展示ポスター



見学の様子

8 所蔵史料の活用

(1) 授業時の見学

科目名：地域史料講読(地域政策学部専門教育科目)

担当教員：橘敏夫氏(当研究所研究員)

2022年10月13日(木)開講の第5回「実物史料をみる(1)」にて三河・遠州地域の街道などが描かれた浮世絵を研究所内で展示し、履修学生に実際に史料を手で触れてもらった。

2022年11月17日(木)開講の第9回「実物史料をみる(2)」にて当研究所所蔵の高札を展示し、履修学生に実物史料を見て触れてもらった。



授業当日の様子(橘研究員と履修学生)

(2) 公開

2021年6月末より、本学国際問題研究所(名古屋校舎)が「愛知大学貴重資料デジタルギャラリー」の運用を開始。当研究所にても絵図類を中心に随時所蔵史料を提供。2022年時点で228点が公開。